

# ともしび通信



## コープともしびボランティア振興財団

〒658-0081 神戸市東灘区田中町5丁目3番20号(生活文化センター西館2階)  
TEL078-412-3930 FAX078-412-3871  
発行人=竹本 成徳 編集人=秦 正雄

## コープともしびボランティア振興財団 中期計画

～設立10年を超え、これからめざすべきことをまとめました～

1996年の設立から10年が経ち、財団設立時の使命や、これまで支えていただいた多くの方々の思いを大切にしながら、これからの時代に求められる支援のありかたを検討するため、外部有識者を含めて検討を重ね、財団中期計画(2007年～2011年)をまとめました。

### ◆ 設立以降10年の検証

<到達点と成果>

- さまざまな講座、研修事業によってボランティアの人材育成と分野の開拓をはかってきたこと、活動助成による継続的支援をおこない、地域密着型活動の後押しをしてきたこと、また積極的に他団体との協働をはかり、ネットワークを広げてきました。
- 財団の設立背景や趣旨の独自性を活かし、支え手と活動者、市民が固定しない循環型支援の呼びかけを継続しています。
- 新たな支援手法として、調査研究助成への着手をおこないました。
- 基本財産運用方法を抜本的に改正し資金基盤を築いたことや、財団の趣旨に賛同する賛助会員の拡大と継続率向上をはかってきました。

<課題>

- 継続助成には、小さなボランティアグループにとっての安心感というメリットと共に、新規申請の受け入れ確保という課題があります。
- コープこうべという歴史と信頼感のある組織をバックボーンとしている独自性やつよみの発揮がさらに求められます。
- 一層多様化する活動への支援をすすめるには、広報活動ならびに事務局機能の強化が不可欠です。

- ◆ 財団の今日のミッションー「新しい価値の創造」をめざします  
この10年間に加速した市場原理主義、格差社会の影響で生きづらさを抱える人々への支援、少子高齢化のもとでのひずみを受けている人々への支援に取り組み、市民主体の社会づくりをめざす活動を支援していきます。

### ◆ 今後の活動方向と視点

- 地域のセーフティネットづくりとして、これまで支援の隙間となっていたセルフヘルプ活動へのかかわりに取り組みます。
- これまでネットワークを築いてきた団体や調査研究助成でのつながりを活かし、多様なコーディネートと市民活動の振興をはかります。
- あらためて、ボランティア活動の意義を再発信します。
- さまざまな専門機関や支援団体と連携をはかりながら、ボランティア活動における調査、提言機能を充実させます。
- ボランティア活動助成を再構築し、重点的な配分の検討や、自立支援も視野にいれた助成プランをつくっていきます。
- 調査研究助成での研究成果を還元できる場を設定します。
- 事務局への助言、提言をおこなう運営委員会を設置します。
- 継続して循環型支援による寄付文化の定着をめざします。資金の支え手に活動内容が伝わるような場を設定します。
- ボランティア活動における学び・交流の場の提供と人材育成、ならびに広報活動の強化をはかります。
- コープ活動サポートセンターとの連携をさらにはかります。

## 2007年度 調査研究助成が決まりました

コープともしびボランティア振興財団では、専門機関でボランティアコーディネート、マネジメント、非営利組織運営等を学び、地域活動に還元する社会人への支援として、「ボランティアコーディネートを学び実践に活かす人のための調査研究助成」をおこなって

います。

第2期にあたる2007年度は下記の5件に助成することとなりました。この助成の研究成果報告は5月の助成金交流会でプレゼンテーションを予定しています。

研究テーマ	研究目的	在籍または入学見込の機関	卒業後のフィールド	助成額
ジェンダー視点に基づく思春期向け「性の健康教育プログラム」作成	子どもの人権を守るCAPの活動にジェンダーの視点をいれ、子どもたちが性暴力や性的いじめの被害者、加害者にならない教育プログラムづくりをおこなう	神戸大学大学院 総合人間科学研究科 博士課程前期 (ヒューマン・コミュニティ創成研究センター)	(特)CAPセンターJAPAN、HIVと人権情報センター 兵庫県を中心とする小中学校などでの授業	300,000円
市民団体と教育機関の連携による渡日外国人(ニューカマー)子弟へのエンパワーメント	学校など教育機関といかに連携してニューカマー子弟を受け入れ、子どもたちの成長に関与できるかをNPO活動を通して調査・検証する	大阪大学大学院 人間科学研究科 前期博士課程	(特)たかとりコミュニティセンター	300,000円
在日外国人の保健医療サポート体制構築～コミュニケーション支援の観点から～	日々の活動を通じボランティア主体の市民活動として担うべきことや問題点の整理、広く社会に知らせるための調査をし、今後の活動に還元	大阪大学大学院 人間科学研究科 ボランティア人間学専攻在籍	多文化共生センターひょうご、兵庫県国際交流財団ほか	300,000円 (2年目)
高齢者の活躍とシルバー人材の活用	団塊世代などリタイア後地域に戻ってくる人の社会貢献のニーズ調査とシニア世代が青少年の教育環境改善に主体的に取り組む手法を開発する	神戸大学大学院 総合人間科学研究科 博士課程前期 (ヒューマン・コミュニティ創成研究センター)	兵庫県または大阪府内の市民活動団体	200,000円
NPOの存続可能性の構築	震災直後から活動継続してきたNPOをフィールドに、社会貢献を担うNPO存続の組織マネジメント手法を明らかにする	神戸大学大学院 経営学研究科 博士課程後期 マネジメントシステム専攻在籍	(特)たかとりコミュニティセンター、FMわいわい、アジア女性自立プロジェクト	200,000円